

2023年5月12日

持続可能社会への貢献を考える
すべての事業者のみなさまへ

3R・低炭素社会検定試験のご案内

一社)持続可能環境センター

平素より、持続可能な豊かな社会の構築に向けてご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

当団体では、持続可能社会の知識と理解を深め、組織・社会を担う人材を育成していくことを目的に、2009年より表記検定を毎年実施してまいりました。すでにのべ9,500名以上の合格者が全国で活躍をされており、合格後のサポートも行っております。

最新版の公式テキストは、京都大学、東京大学、環境省、国立環境研究所をはじめとして第一線で活躍される方々に執筆いただき、網羅的にテーマごとに見開きで158節にまとめており、検定のためのみならず、業務で直面する環境課題に対応するための参考資料としてもご活用いただいております。

環境方針に示されたビジョンを実現していくためには、従業員一人ひとりの知識と理解が不可欠です。3R・低炭素社会検定試験をご活用いただき、経営陣・従業員が一体となって、世界的環境危機の大波を、持続可能社会に向けた事業チャンスとしていただければ幸いです。

また、本検定試験は非営利事業として行っており、多くの企業・団体・運営委員・大学の先生方等の協力によって成り立っています。持続可能社会にむけた人材育成に、ご支援・ご協力もあわせてお願いいたします。

試験内容

3R・低炭素社会検定は、3R 部門、低炭素社会部門の 2 つに分かれており、いずれか一方のみの受験も可能です。それぞれ実試験時間は 90 分。マークシート形式の 4 択問題が 68 問ずつあります。

3R・低炭素社会検定公式テキスト最新版(第 3 版 2 刷)、問題集をもとに出題されます。

●3R 部門

ごみ減量・適正処理・循環経済・ごみに関する各種の問題と対応(プラスチック、食品ロス、有害物)などに関する基礎と動向、各々が取り組むべきことについて確認します。

●低炭素社会部門

脱炭素(カーボンニュートラル)・気候変動(地球温暖化)問題・省エネなどに関する基礎と動向、各々が取り組むべきことについて確認します。

●合格レベル

(リーダー)60 点程度以上

(リーダー・ゴールド) 90 点程度以上

※ただし、問題の難易度により、合格基準点が変わる場合があります。

第 16 回検定試験について

2023 年 11 月 12 日(日)に全国 9 会場で実施します。申し込みは 8 月 1 日から開始します。

●試験地

北海道、東京、愛知、石川、京都、大阪、徳島、広島、福岡

●試験時間

3R部門 11時00分から12時50分 (110分、うち説明時間 20分)

低炭素社会部門 14時00分から15時50分 (110分、うち説明時間 20分)

●検定料

1部門(3R部門・低炭素社会部門のどちらかを受験される場合) 4,400円(税込)

2部門(3R部門・低炭素社会部門の両部門を受験される場合) 5,500円(税込)

ご活用事例 大和リース株式会社との IP 試験実施

大和リース株式会社では、3年間をかけて社長以下全従業員が、3R・低炭素社会検定を受験し、合格者を輩出することをめざしており、今年度(第16回検定試験)で3年目を迎えます。初年度は3R部門、低炭素社会部門をあわせて1,489名が合格認定されました。

全国各地に事業所があるために、集まって受験をすることが難しい状況でしたが、全国の事業所の会議室をオンラインで結び、検定事務センターの試験監督官が全国を監視・進行指示をする形で、厳密な形で試験を実施しました。

全従業員に環境目標を周知させ、環境保全に関する社会動向を把握するための教育の機会の一環として実施しており、学習だけでなく、地域活動などにもつなげています。

参考:大和リース株式会社:環境教育・環境コミュニケーションへの取り組み

https://www.daiwalease.co.jp/corporate/sustainability/env_education.html

ご活用事例 株式会社高島屋

高島屋では検定が始まった2009年から、高島屋各店の総務担当とグループ会社のビルメンテナンス部門のメンバーに希望を募って、3R検定と低炭素社会検定に積極的に取り組んでいます。

その目的としては、①検定での総合的な学習を、安全・安心の体制確保にしっかり活かすこと。②社内外の環境活動に貢献するための幅広い知識の習得を目指すこと。の2点です。

毎年10名～15名の受験者は、休みの日を利用して講習の受講や自習に励み、ほぼ全員が合格しています。また、受験費用は全額会社負担となっています。

この検定は、3R・低炭素社会の成り立ちから歴史、法令・協定の意義、また化学的な専門用語解説など、様々な分野について体系的に学ぶことができます。

今後は、この知識をいかに維持・向上させていくか？また業務はもちろんのこと、地域を始め、社会全体にどのように生かしていけるか？が課題だと思っています。

元高島屋 CSR 推進室 佐藤 和彦(検定 WEB サイトより)

ご活用方法 A 第 16 回 3R・低炭素社会検定試験を受験いただけます

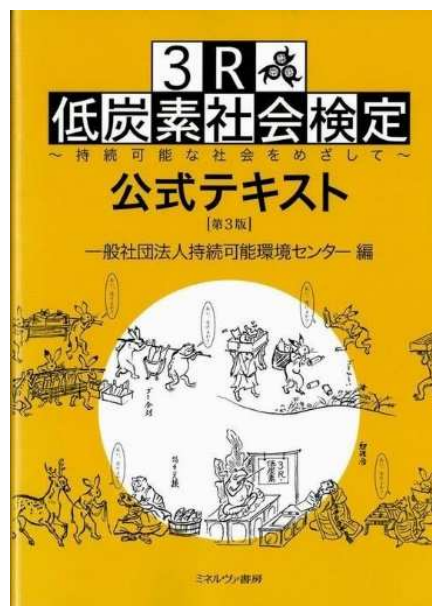
全国 9 会場で検定試験を実施します。WEB サイトからお申込みください。ただし受験会場人数に制約があり、多人数の場合には、受験できない場合もあります。

8月1日～10月6日	受験申込
10月8日、15日	講習会の開催(オンラインあり)
11月12日	試験実施
12月下旬	合格発表
1月(予定)	合格者オンラインミーティング

●公式テキストのお申込み

10 冊以上のまとめてのお申込みは事務局で承ります(送料無料)。個別のお申込みの場合には、送料がかからないため、オンライン書店、お近くの書店での購入がおすすめです。

(一社)持続可能環境センター編集：3R・低炭素社会検定公式テキスト
第3版 2 刷、ミネルヴァ書房
定価 4,620円(税込)



●問題集のお申込み

検定 WEB サイトからお申込みいただけます。昨年度の第 15 回検定試験の問題解説集は 6 月頃の発行予定です。

●検定ポスター・チラシのお申込み

6 月中旬ごろに、ポスター・チラシが刷り上がる予定です。掲示などしていただける場合には、必要部数、送付先などをご連絡ください。

●オンライン学習ツールの利用

公式テキストの内容を確認するための模擬テスト問題を 400 問以上用意して、いつでも確認することができます(試験問題ではありません)。

また、試験内容についての講習会もオンラインで配信を行っています。

いずれも、クレジットカード決済で、ご利用いただけます。一部無料で公開しております。

<https://www.3r-teitanso.jp/>

ご活用方法 B IP 試験を実施いただけます

御社・団体の会議室などを活用して、従業員のみなさまに受験しやすい形で、試験を実施できます。
受験料の値引きや、学習ツールの提供などを通じて、学習を応援します。
おおむね 30 名以上の受験者がある場合におすすめです。
試験会場、監督方法など調整が必要になりますので、ご了承ください。

～8 月	実施方法の調整・受験会場確定
～10 月 6 日	従業員の受験申込
11 月 12 日	試験実施
12 月下旬	合格発表
1 月(予定)	合格者オンラインミーティング

●主な値引き(例)

- 受験料の値引き
- 問題解説集の値引き
- 団体受験者限定の講習ビデオの無償提供

※IP 試験として実施にあたって、受験料金の最低金額を設定しており、受験者数が少ない場合はおすすめしません。最低金額は、受験会場数にもよりますのでご相談ください。

●公式テキスト・問題集のお申込み

まとめて事務局までお申し込みいただけます。

ご活用方法 C 協賛もしくは法人会員としてご協力いただけます

持続可能社会にむけた人材育成に、貢献いただけます。ご支援・ご協力をお願いします。

(1)第 16 回検定試験に協賛ください

検定試験ごとに、全国で掲示されるポスター、チラシ等で、協賛者のお名前を掲示させていただきます。1 口 10 万円から、お申込みを受け付けます。

(2)会員としてご参加ください

検定運営を続けるにあたり、現在、第一線の研究者・専門家が協力して運営を行っています。会員になることで、3R・低炭素に関して、お悩みや質問にお答えできることも多くあります。また、多くの関係者との情報交流ができます。

1. 第一線の研究者・専門家との情報交流
2. 合格者ネットワークへの参加、3R・低炭素に関する最新情報提供
3. オンライン講習・模擬テストのチケット(正会員のみ)
4. 総会での議決権(正会員のみ、口数に関わらず 1 票)

年会費

団体正会員 1 口	50,000 円	団体賛助会員 1 口	30,000 円
個人正会員 1 口	5,000 円	個人賛助会員 1 口	3,000 円

※年額で 3 月締め金額です。10 月以降入会の場合には初年度半額となります。

申込方法

別紙入会申込書にご記入の上、FAX・郵送にて事務局までお送りください。

申込書ダウンロード：<https://www.3r-teitanso.jp/organization/>

公式テキスト執筆者・協力者

〈執筆者・編集委員一覧〉（五十音順）

あいざわひろふみ
相澤寛史

環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 室長

あかし おさむ
明石 修

武蔵野大学工学部環境システム学科 准教授

あさり みず
浅利美鈴

京都大学大学院地球環境学学 准教授 編集委員

いけきたみのる
池北 實

エコ京都 代表

いけまつたつひと
池松達人

環境省地球環境局地球温暖化対策課低炭素物流推進室 室長補佐

いなむらみつ お
稲村光郎

廃棄物資源循環学会ごみ文化・歴史研究部会 会員

いのうえりょう ま
井上 竜馬

一般財団法人環境事業協会 スタッフ

いよ だまさよし
伊与田昌慶

認定 NPO 法人気候ネットワーク 主任研究員

うえだ かつひろ
植田和弘

京都大学 名誉教授

うえだ ひろゆき
植田洋行

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギーユニット 地球環境部 主任研究員

おおさこまさひろ
大迫政浩

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター センター長

おおしまけんいち
大島堅一

龍谷大学政策学部政策学科 教授

おかもとひさと
岡本久人

次世代システム研究会 代表

おかやまとも こ
岡山朋子

大正大学地域創生学部地域創生学科 教授

おくだてつじ
奥田哲士

龍谷大学先端理工学部環境ソリューション工学科 准教授

かとうひでき
加藤秀樹

公益財団法人豊田都市交通研究所研究部 主席研究員

かとう まこと
加藤 真

一般社団法人海外環境協力センター 主席研究員

かわじりきょうこ
河尻京子

NPO 法人ツバル・オーバービュー 理事

かわた ゆう
河田 悠

環境省地球環境局地球温暖化対策課

かわはらひろみつ
川原博満

(元)一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事務局長

きそゆうひ
木曾結日

一般財団法人環境事業協会 スタッフ

きだあきこ
貴田晶子

特定非営利活動法人高木仁三郎市民科学基金 顧問

くすべたかせい
楠部孝誠

石川県立大学生物資源工学研究所 講師

こうやまたくみ
光山拓実

環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課 主査

こばやしじゅんいちろう
小林 純一郎

環境省 環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課

さかい こうへい
酒井広平

株式会社エックス都市研究所サステナビリティ・デザイン事業本部新事業創出チーム 副主任研究員 編集委員

さかい しんいち
酒井伸一

京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター センター長

しまづ はるき
嶋津治希

近畿大学理工学部社会環境工学科 教授

すず きしんや
鈴木慎也

福岡大学工学部社会デザイン工学科 准教授

すず きやすみ
鈴木靖文

有限会社ひのでやエコライフ研究所 代表取締役

すどうともりのり
須藤智徳

立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 教授

たかつき ひろし
高月 紘

京エコロジーセンター 館長

たむら ゆかり
高村ゆかり

東京大学未来ビジョン研究センター 教授

たきもとひろ
田崎智宏

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター循環型社会システム研究室 室長

つづみ たっぺい
堤 達平

環境省地球環境局国際地球温暖化対策担当参事官室 参事官補佐

てらぞの あつし
寺園 淳

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 副センター長

とうきょう と かんきょうきょくそりょうさくげん か
東京都環境局総量削減課

ともだ かよ
友田加世

環境カウンセラー・広島県環境保全アドバイザー

ないとうまさあき
内藤正明

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター センター長

なかむらかずお
中村一夫

公益財団法人京都高度技術研究所バイオマスエネルギー研究部 部長

のせみつひろ
野瀬光弘

NPO 法人環境安全センター 研究員

のむらただし
野村直史

廃棄物・資源循環学会 会員

はなしまあつこ
花嶋温子

大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科 准教授

はやぶちゆりこ
早瀬百合子

九州大学グローバルイノベーションセンターアドバンストプロジェクト部門 准教授

ひらい やすひろ
平井康宏

京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター 准教授

ふくい かずき
福井和樹

神奈川県小田原市環境部 管理監

ふくおかまさこ
福岡雅子

大阪工業大学工学部環境工学科 准教授

ほり たかひろ
堀 孝弘

京都市ごみ減量推進会議

ほんだ しゅんいち
本多 俊一

国際連合環境計画 経済局国際環境技術センター プログラムオフィサー

ます だけい こ
増田啓子

龍谷大学 名誉教授

まつおか ゆづる
松岡 譲

京都大学 名誉教授

まつはしけいすけ
松橋啓介

国立環境研究所社会環境システム研究センター環境政策研究室 室長

みさわともこ
三澤友子

認定NPO法人地球環境市民会議（CASA）理事

みずたに さとし
水谷 聡

大阪市立大学工学部都市環境工学科 准教授

みずの ゆうじ
水野勇史

（元）公益財団法人地球環境戦略研究機関気候変動とエネルギー領域 エリアリーダー

むらおかりょうすけ
村岡良介

一般財団法人日本環境衛生センター 研修事業部長 編集委員

むらかみしんすけ
村上進亮

東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 准教授

もも せよしのり
百瀬嘉則

環境省福島地方環境事務所土壌再生利用推進室 室長

もりたちずこ
森田知都子

一般社団法人ふろしき研究会 代表

もりやすようへい
森安洋平

住友林業株式会社

やすだ よしたか
安田義崇

安田産業株式会社 地球環境室 室長代理

やまかわ はじめ
山川 肇

京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

よしおかとしあき
吉岡敏明

東北大学大学院環境科学研究科自然共生システム学講座 教授

よしむら じゅん
吉村 純

気象庁地磁気観測所 主任研究官

よしむらたつり
吉村龍典

京都大学大学院 地球環境学堂 事務補佐

わだ たけし
和田 武

和歌山大学経済学部 客員教授

わたなべこうへい
渡辺浩平

帝京大学文学部社会学科 准教授

わたなべのぶひさ
渡辺信久

大阪工業大学工学部環境工学科 教授

所属、肩書きは執筆当時の方もあります。

株式会社 A T A (デザイン)

協力団体

大阪湾広域臨海環境整備センター、国際連合環境計画国際環境技術センター

NPO 法人環境り・ふれんず、一般財団法人日本環境衛生センター、株式会社 ComodoLABO、認定 NPO 法人 中部リサイクル運動市民の会

NPO 法人エコプラザさばえ、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

京都市ごみ減量推進会議、NPO 法人環境安全センター、一般財団法人環境事業協会

一般財団法人九州環境管理協会

日本ウエスト株式会社、株式会社京都環境保全公社、株式会社プランテック、安田産業株式会社

株式会社東和テクノロジー、京都市生活環境事業協同組合、3R 活動推進フォーラム、株式会社タクマ

公益財団法人ひょうご環境創造協会、JFE エンジニアリング株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人 持続可能環境センター

〒600-8085 京都市下京区葛籠屋町 515-1 有限会社ひのでやエコライフ研究所内

電話: 075-708-8152 E-mail: sec@3R-teitanso.jp

担当 鈴木

検定 WEB サイト

<https://www.3r-teitanso.jp/>

<https://www.3R-teitanso.jp/>

3R 低炭素 検定

検索

